

2025年度合同入社式 挨拶(要旨)について

本日、山陽特殊製鋼本社講堂にて山陽特殊製鋼グループ3社※の2025年度合同入社式を挙行了しました。合同入社式における山陽特殊製鋼(株)宮本社長の挨拶の内容(要旨)は以下のとおりです。

※山陽特殊製鋼(株)、山特工業(株)、サントクコンピュータサービス(株)。合同での入社式は初めて。

ご安全に！

山陽特殊製鋼グループである山陽特殊製鋼、山特工業、サントクコンピュータサービスへのご入社、おめでとうございます。今年初めて、山陽特殊製鋼グループ合同での入社式を開催しました。これは山陽グループが直面している事業環境、経営課題に立ち向かい、解決していくためにはグループの総力を結集していかなばならないことを、入社したこの時から理解していただきたいからです。私たちが生み出す商品は、自動車をはじめ、建設機械、産業機械、ロボット、風力発電装置などの幅広い分野で使われ、世界でも最高品質と評価を受けています。当社グループは、海外事業強化により、ここ数年で売り上げ規模は倍増、従業員数も約6,400人と急増し、外国籍の従業員が7割を占めました。加えて、姫路の本社工場でもこの数年間で大規模な生産ライン更新を実施し、お客様のニーズに効率よく応えられる特殊鋼ミルに進化しています。

足元では、国内の特殊鋼需要は緩やかな回復が期待される一方で、海外市場では地産地消化やE V化の進展により、当社を取り巻くサプライチェーン全体が大きく変化しつつありますが、適正なマージン確保に向けた販売価格改善や生産量に見合う操業コスト最適化等の対策に全社一丸となって取り組んでいるところです。

今後、山陽特殊製鋼は日本製鉄の100%子会社となる予定です。当社グループが持続的に成長するためには、日本製鉄との間で最適生産体制の追求や経営リソースの共有、一体化・最適化による競争量の強化、需要拡大が見込まれる地域での収益機会の確保などの課題に取り組むことが重要です。

皆さんがこれから活躍するために、私から3点お伝えします。

ひとつめは、「挑戦」です。

カーボンニュートラルやDXなど、社会や産業の変化はますます加速し、今後も次々と新しい課題が出てきます。これらをクリアしていくためには「果敢にチャレンジし続けること」が重要で、特にフレッシュで柔軟な思考を持つ皆さんの力が必要です。これから仕事を進めていくなかで、様々な困難にぶつかることもありますが、チャレンジしているうちは失敗ではありません。会社も職場の上司も先輩も皆さんがチャレンジし学ぼうとするのを全力でサポートします。

次に、「技能伝承」についてです。

当社グループの強みは現場力である技能の積み上げに他なりません。その強みに誇りを持ってさらに発展させることが、グループの根幹を支えることとなります。現場における技能の積み上げの大切さを理解し、フレッシュな皆さんが中心となって、当社の技能伝承活動をさらに盛り上げていってください。

最後に、「心身の健康」です。

皆さんが心身ともに良いコンディションをキープして会社生活を送り、「高信頼性鋼の山陽」を支える頼もしいメンバーとして育っていかれることを期待しています。

今日から社会人生活が始まる皆さんは、あらゆる可能性に満ちています。
若い力をのびのびと発揮して、充実した日々を過ごされる事を心から祈念し、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長 宮本 勝弘



挨拶する宮本社長



2025 年度当社グループ新入社員